

平成29年度 着手
令和6年度（変更第1回）

県 営 三 宅 川 左 岸 地 区 土 地 改 良 事 業 計 画 書

（ 緊 急 農 地 防 災 事 業 ）

愛 知 県

目

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
第 2 節	土 地 状 況	3
1.	地形、土壌及び侵食の程度	3
2.	土 地 分 類	3
3.	土地利用の状況	3
4.	土地所有の状況	4
第 3 節	水 利 状 況	4
1.	用 水 状 況	4
2.	排 水 状 況	5
3.	河 川 状 況	7
第 4 節	道 路 概 況	7
第 5 節	地域農業の概況	8
1.	産業別就業人口	8
2.	経営耕地広狭別農業経営体数	8
3.	主要家畜頭数	8
4.	主要作物作付状況	9
5.	農業の動向	10
第 6 節	地域環境の概況	11

次

第 4 章	一 般 計 画	12
第 1 節	事業計画の要旨	12
1.	要 旨	12
2.	事業別面積	12
第 2 節	営農計画及び土地利用計画	13
第 3 節	用 水 計 画	13
第 4 節	排 水 計 画	13
1.	計画基準雨量	13
2.	計画排水方式	13
3.	計画排水系統	13
4.	計画排水量	13
5.	排 水 対 策	13
6.	た ん 水 検 討	15
第 5 節	道 路 計 画	15
第 6 節	農用地造成計画	15
第 7 節	洪水調節計画	15
第 8 節	干 拓 計 画	15
第 9 節	農用地整備計画	16
第 10 節	老朽ため池改修計画	16
第 5 章	主 要 工 事 計 画	16
第 1 節	用 水 施 設	16
第 2 節	排 水 施 設	16
1.	排 水 水 門	16
2.	排 水 機	16

3.	排 水 路	16
4.	その他排水施設	16
第3節	道路及び索道	17
第4節	農用地造成	17
第5節	洪水調節施設	17
第6節	干 拓 施 設	17
第7節	農用地整備施設	17
第8節	老朽ため池改修施設	17
第 6 章	附 帯 工 事 計 画	17
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	17
第 8 章	環境との調和への配慮	18
第 9 章	換地計画の概要	18
第 10 章	事業費の総額及び内訳	19
第 11 章	効 用	20
第 12 章	関 連 す る 事 業	21
第 13 章	現況・計画図面	21

第1章 目 的

上段：（変更前）

下段： 変更後

本地域は愛知県稲沢市の南部に位置しており、本地域の排水は、県営たん水防除事業三宅川3期地区（平成21年度～平成27年度）により整備された三宅川排水機場により、三宅川に排水されている。しかしながら、地区外流域からの排水の流入により、排水機場能力以上の負荷が生じ、新たな湛水被害が発生する恐れが生じている。

以上の背景から、本事業により三宅川左岸の排水路を整備し、地区外流域からの排水を三宅川へ放流することで、本地域の湛水被害を解消するものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

（第1表）

事業名	地 域	備 考
緊急農地防災事業	稲沢市	—

第2節 地積

（平成 29 年 1 月 ）
令和 6 年 3 月現在

（第2表）

事業名	現況地目	田	普通畑	原野	山林	その他	計	備 考
	市町村名	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
緊急農地防災事業	稲沢市	9.9	12.2	—	—	26.7	48.8	「地積」は都市計画図（S=1:2,500）図測による
計		9.9	12.2	—	—	26.7	48.8	—

第3章 現 況

第1節 気象 1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	愛西	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	平成3年～令和2年	4月～9月	10月～3月		
平均気温		22.2℃	9.0℃	15.6℃	
降水量	平均	1,169mm	561mm	1,730mm	
	基準年	—	—	—	
降水日数	平均	65日	47日	112日	
	基準年	—	—	—	
根雪期間		—月—日～—月—日(—日間)			
無霜期間		—月—日～—月—日(—日間)			
最多風向		NW	最大風速 (風向)(m/s)	18.0(SE)	平成30年9月4日

出典：愛知県内気象データの提供について（令和6年4月1日）公益財団法人愛知・豊川用水振興協会

2 特殊気象

(第3表-2)

観 測 所 名		第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
愛西																	
観 測 期 間		数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
昭和54 年～ 令和5 年																	
最 大 日 雨 量	(mm)	297.0	H.12.9.11	1/438	233.0	H.29.10.22	1/66	185.0	S.63.9.20	1/15	173.0	H.1.9.5	1/11	160.0	H.28.9.20	1/7	5位と同一 H16.10.20
最 大 時 間 雨 量	(mm)	75.0	S.63.9.20	1/81	64.0	H.25.9.4	1/28	60.0	H.12.9.10	1/19	59.0	H.12.9.1	1/18	58.0	H.27.8.17	1/16	
最 大 4 時 間 雨 量	(mm)	167.0	S.63.9.20 4:00～	1/108	148.0	H.12.9.11 14:00	1/48	123.0	H.1.9.5 17:00～	1/16	113.0	H.27.8.17 2:00～	1/11	111.0	R.4.7.9 22:00～	1/10	
最 大 連 続 雨 量	(mm)	439.0	H.12.9.9 ～ H12.9.12	1/82	370.5	H.29.10.13 ～ H.29.10.25	1/28	346.0	H.19.7.10 ～ H.19.7.17	1/19	328.0	H.2.9.13 ～ H.2.9.20	1/14	312.0	S.57.7.24 ～ S.57.8.3	1/11	
最大連続干天日数	(日)	31	H.11.12.6 ～ H.12.1.5	1/79	26	H.7.11.28 ～ H.7.12.23	1/18	25	S.62.12.10 ～ S.63.1.3	1/13	24	H.1.8.3 ～ H.1.8.26	1/10	24	R.2.11.21 ～ R.2.12.14	1/10	

出典：愛知県内気象データの提供について（令和6年4月1日）公益財団法人愛知・豊川用水振興協会

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑・その他						受益地標高(m)		備考	
	傾 斜 区 分	1/1000	1/1000	1/100	1/20	1/11.5	計	3° 以下	8～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高		最低
		以下	～ 1/100	～ 1/20	～ 1/11.5	～ 以上			8° ～ 10°	10° ～ 15°	小計						
緊急農地 防災事業	面積 (ha)	9.9	－	－	－	－	9.9	12.2	－	－	－	－	－	12.2	4.00	2.80	－
	比率 (%)	100%	－	－	－	－	100%	100%	－	－	－	－	－	100%			
合 計	面積 (ha)	9.9	－	－	－	－	9.9	12.2	－	－	－	－	－	12.2	－	－	－
	比率 (%)	100%	－	－	－	－	100%	100%	－	－	－	－	－	100%			

都市計画図 (S=1:2,500) 図測による

土壌

(第4表-1-2)

土 壤 統 統 (区) 区 分 一 覧 表																面 積 (ha)				備考
項 目 土壌統(区)名	土 壤				断 面				堆積様式	母材	事 業 名									
	色	腐植	礫層	酸化 沈殿物	土 性			泥炭層黒 泥層及び グライ層			緊急農地 防災事業	－	－	計						
					表 土	下 層 土														
					一 層	二 層	三 層													
灰色低地土	灰色	あり	なし	なし	灰色低地土	不明	不明	なし	不明	非固結火成岩	22.1	－	－	22.1	－					
計	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	22.1	－	－	22.1	－					

2. 土地分類

該当なし

3. 土地利用の状況

(平成 29 年 1 月)

令和 6 年 3 月現在 (第4表-2)

事業名	土地 利用別	耕 地						原野	山林	採 草 放 牧 地	そ の 他	計	備考
		水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶 園	そ の 他 樹 園 地						
	市町村別	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
緊急農地防災事業	稲沢市	9.9	12.2	-	-	-	-	-	-	-	26.7	48.8	
合 計		9.9	12.2	-	-	-	-	-	-	-	26.7	48.8	

(平成 29 年 1 月)
令和 6 年 3 月現在 (第4表-3)

4. 土地所有の状況

事業名	所有別 区分	個人有地等	国 有 地	県 有 地	市 有 地	計	備 考
緊急農地 防災事業	面 積 (ha)	22.1	-	26.7	-	48.8	—
	受 益 者 数 (人)	236	-	-	-	236	—
	筆 数 (筆)	-	-	-	-	-	—
	権 利 関 係	所有権	-	-	-	-	—
	備 考 (関 係 戸 数)	(-)	-	-	-	(-)	—
合 計	面 積 (ha)	22.1	-	26.7	-	48.8	—
	受 益 者 数 (人)	236	-	-	-	236	—
	筆 数 (筆)	-	-	-	-	-	—
	権 利 関 係	所有権	-	-	-	-	—
	備 考 (関 係 戸 数)	(-)	-	-	-	(-)	—

第3節 水利状況

1. 用水状況 該当なし

2. 排水状況

本地域の排水は、県営たん水防除事業三宅川3期地区により整備された三宅川排水機場により、三宅川に排水されている。しかしながら、地区外流域からの排水の流入により、排水機場能力以上の負荷が生じ、新たな湛水被害が発生する恐れが生じている。

(1) 排水系統 (別紙 現況排水系統模式図参照)

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

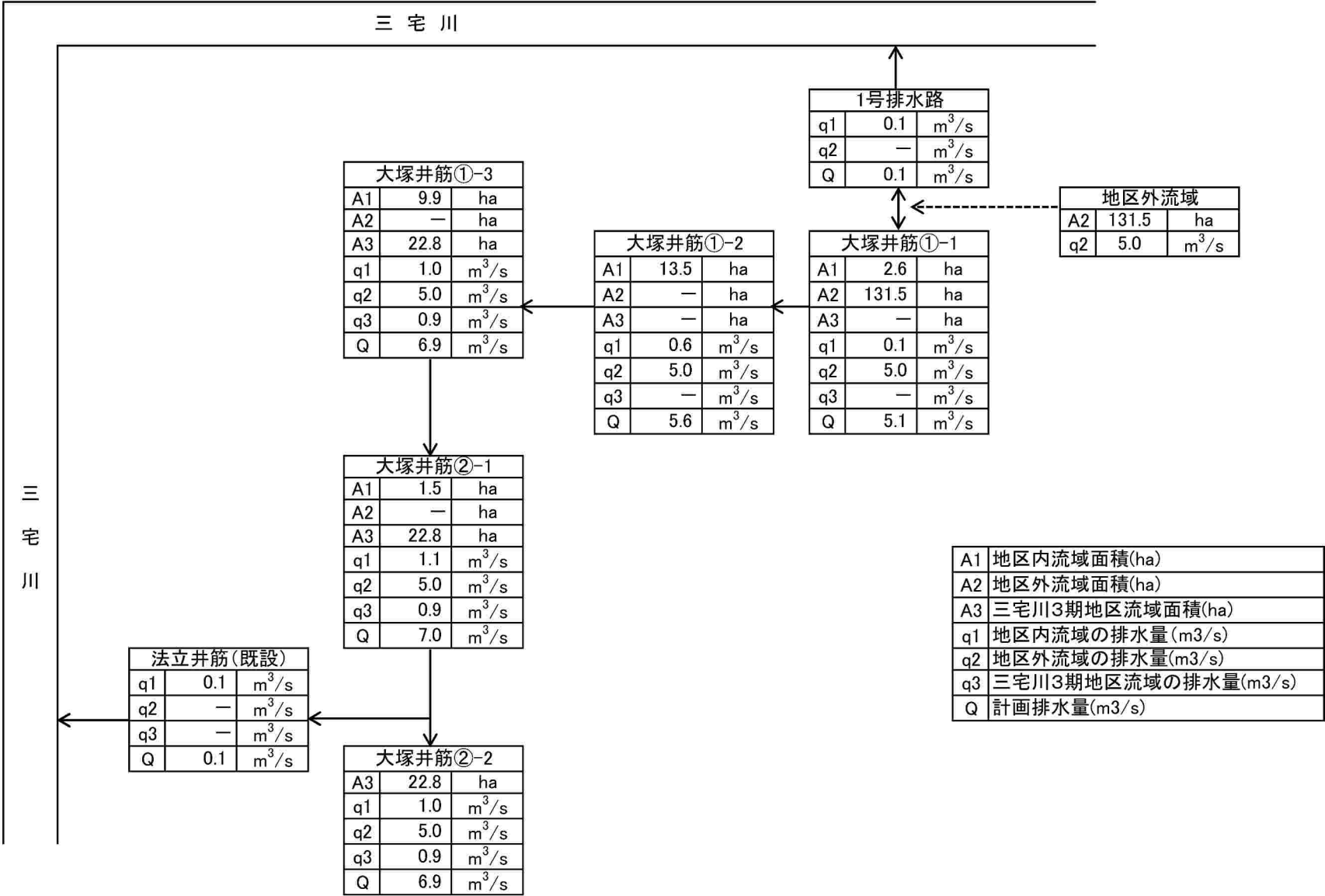
事 業 名		項 目		排水面積						計		排水慣行 (m3/s)	現況排水能力 (m3/s)	備 考
				500ha 以 上		500～100ha 以上		100ha 未 満						
		施設名		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
緊急農地防災事業	自然	排水路	-	-	1	180.3	-	-	1	180.3	-	-		
		水 門	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	計		-	-	1	180.3	-	-	1	180.3	-	-		
合計		-	-	1	180.3	-	-	1	180.3	-	-			

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	新設年 又は 更新年	新設年 又は 更新年	改修を必要とする 理由	備考
緊急農地防災事業	自然	排水路	1号排水路	48.8	コンクリート三面 張りB1.3m×H1.0m	-	-	湛水被害防止	1号排水路以外新設
		水門	-	-	-	-	-	-	-
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	-
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-	-
		計	-	48.8	-	-	-	-	-
	合計		-	48.8	-	-	-	-	-

現況排水系統模式図



(3)排水に関する被害状況

(第5表－6)

事 業 名	項 目	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況(ha)						平均減産量		備 考
				湛水深 (cm)	湛水時 間	湛水面 積	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
								乾	湿	乾	湿	乾	湿			
緊急農地防災事業	1号～3号排水路	平均	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1/10年確率
		基準年	214.0	60.0	24.0	11.5	69.0	-	11.5	-	-	-	-	-	-	
	計	平均	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		基準年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合 計		平均	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		基準年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

3. 河川状況 該当なし

第4節 道路概況 該当なし

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気 ガス 熱供給 水道業 (人)	運輸 通信業 (人)	卸売業 小売業 飲食店 (人)	金融業 保険業 (人)	不動産 業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)
稲沢市	(68,244) 67,583	(2,965) 2,551	(7) 3	 2	(1) -	(4,380) 4,351	(15,747) 15,301	(306) 300	(5,940) 6,496	(10,284) 10,454	(1,603) 1,459	(980) 995	(3,828) 4,034	(1,716) 1,743	(20,485) 19,894
比率 (%)	100.0	(4.3) 3.8	 0.0	 0.0	(0.0) -	 6.4	(23.1) 22.6	 0.4	(8.7) 9.6	(15.1) 15.5	(2.3) 2.2	(1.4) 1.5	(5.6) 6.0	(2.5) 2.6	(30.0) 29.4

(平成27年)

出典:令和2年国勢調査

2. 経営耕地広狭別農業経営体数

(第7表-2)

区分 市町村名	農業 経営体数 (経営体)	経営耕地広狭別経営体数 (経営体)										1経営体当たり平均 農用地面積 (ha)					備 考
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5 ha	0.5 ～ 1.0 ha	1.0 ～ 1.5 ha	1.5 ～ 2.0 ha	2.0 ～ 3.0 ha	3.0 ～ 5.0 ha	5.0 ～ 10.0 ha	10.0 ～ 20.0 ha	20.0 ha 以上	田	畑	樹園地	草地		
稲沢市	(1,447) 1,098	(53) 121	(434) 315	(665) 416	(189) 123	(58) 50	(29) 28	(11) 16	(5) 8	(7) 7	(6) 14	(0.8) 1.7	(0.4) 0.6	(0.5) 1.3	— —		
比率 (%)	100.0	(3.7) 11.0	(30.0) 28.7	(46.2) 37.8	(13.1) 11.2	(4.0) 4.6	(2.0) 2.6	(0.8) 1.5	(0.3) 0.7	(0.5) 0.6	(0.4) 1.3	(47.1) 47.2	(23.5) 16.7	(29.4) 36.1	— —		

(2015年)

出典:2020年世界農林業センサス

3. 主要家畜頭数

(第7表-3)

項 目 市町村名		主要家畜								備考
		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
		数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (百羽)	経営体数 (経営体)	
稲沢市		-	-	-	-	-	-	(-)X	(-)2	総経営体数 (1,513) 1,098
100経営体当たり数量 (頭、100羽)		-		-		-		-		-
飼養経営体数割合 (%)		-		-		-		-		総経営体数 (1,513) 1,098

(2015年)

出典:2020年世界農林業センサス

X:秘密保護上統計値が公表されていないもの

—:事実のないもの

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名	稲沢市			計	作付割合	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)	(3,290) 2,970			(3,290) 2,970		
区 分 作 物 名	作付面積 (ha)			作付面積 (ha)	(%)	
水 稻	(656) 649			(656) 649	(58.4) 46.9	<出典> 耕地面積 (第63次(H27~28)) 第67次(R1~R2) 東海農林水産統計年報 作物別作付面積 (2015年) 2020年 世界農林業センサス 水稲の単位面積当たり収量 (第63次(H27~28)) 第67次(R1~R2) 東海農林水産統計年報
麦 類	(-) X			(-) X	(-) X	
雑 穀	(-) X			(-) X	(-) X	
いも類	(1) 0			(1) 0	(0.1) X	
豆 類	(3) 4			(3) 4	0.3	
工芸作物	(1) X			(1) X	(0.1) —	
野菜類 (露地)	(152) 107			(152) 107	(13.5) 7.8	
野菜類 (施設)	(X) 19			(X) 19	(X) 1.4	
花き類 (露地)	(226) 165			(226) 165	(20.1) 12.0	
花き類 (施設)	(21) 14			(21) 14	(1.9) 1.0	
果樹 (露地)	(X) 100			(X) 100	(X) 7.3	
果樹 (施設)	(X) 1			(X) 1	(X) 0.1	
その他 (露地)	(61) 318			(61) 318	(5.4) 23.1	
その他 (施設)	(2) 1			(2) 1	(0.2) 0.1	
計	(1,123) 1,378			(1,123) 1,378	(100.0) 100.0	
市町村別延べ作付率 (%)	100.0			100.0		

(: 「0」は単位に満たない項目 「-」は調査は行ったが事実の無い項目 「X」は秘密保持の項目)

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農業経営体			土 地			主要作物			大 家 畜			地域指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農振整備計画 昭和44年12月24日 (稲沢市)	A・・・ (平成27) 令和2年 B・・・ (22) 平成27年 C・・・ (17) 平成22年
変化の状況 C 年 を 100 とする指数	農業経営体数	(84)	(60)	耕地	(95)	(79)	水稻	(112)	(80)	乳用牛	(85)	(X)		
		72	52			83		85			58	57		
	個人経営体数	(81)	(59)	田	(105)	(61)	麦類	(X)		肉用牛		(X)		
		73	52			94		89			—	X		
	団体営経営体（法人） 数	(154)	(130)	普通畑	(77)	(73)	豆類	(38)	(50)	豚	(111)	(71)		
		84	81			94		89	100		133			
団体営経営体（非法 人）数	(522)	(11)	樹園地	(52)	(50)				家きん					
	2	4			96	91						X	X	
変 化 の 理 由	農業経営体数は減少傾向にある。それ に伴い、個人経営体数も減少傾向にある が、団体経営体（法人）数は以前よりも 増加している。			農家数の減少に伴い 耕地面積も減少傾向で ある。農地の減少は、 宅地等其他地目への転用 によるものである。			土地利用型農業の展 開により麦類、豆類が 増加している。			小規模な経営が維持 されている。				
	農業経営体数は減少傾向にある。それ に伴い、個人経営体数も減少傾向にあ る。団体経営体（法人）数も減少傾向に あるが、近年は横ばいで推移している。			農家数の減少に伴い、 耕地、田、普通畑、樹 園地も減少傾向であ る。			土地利用型農業の展開 により、豆類が増加し ているが、水稻の面積 は減少傾向にある。							

出典：(2005年世界農林業センサス) (2010年世界農林業センサス) (2015年世界農林業センサス)

出典：2010年世界農林業センサス 2015年世界農林業センサス 2020年世界農林業センサス

注：「0」は単位に満たない項目 「-」は調査は行ったが事実の無い項目 「X」は秘密保持の項目

第6節 地域環境の概況

1. 自然公園地域及びその他の地域指定

自然公園地域等の指定はされていない。

2. 環境保全施設の概要

優良農地の保全・整備とあわせた良質な水辺空間の確保、農村集落における快適な生活環境の確保及び自然環境の保全を図るため、利水、環境、景観をとらえた整備を推進する。

3. 重要な動植物の概要（特に配慮すべき生物環境）

魚類： フナ、ミナミメダカ

昆虫類： ベニイトンボ

植物： ヤブツバキ、カシ、シイ、マツ、ベニサザンカ

4. 景観の優れた地域の概要（特に配慮すべき生物以外のもの）

自然堤防の微高地及び日光川、五条川、青木川、三宅川、大江川、福田川等の河川

第4章 一 般 計 画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

地区外流域からの排水の流入により、排水機場能力以上の負荷が生じ、新たな湛水被害が発生する恐れが生じているため、排水路を整備し、地区外流域からの排水を三宅川へ放流することで、本地域の湛水被害を解消するものである。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土 地 利 用 区 分 事 業 目 的	緊急農地防災事業					計 (ha)
	田	普通畑	樹園地	その他	小計	
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
湛水被害の解消	9.9	12.2	－	26.7	48.8	
計	9.9	12.2	－	26.7	48.8	

都市計画図 (S=1:2,500) 図測による

第2節 営農計画及び土地利用計画 該当なし

第3節 用水計画 該当なし

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

日雨量 214.0mm (1/10確率)

2. 計画排水方式

自然排水

3. 計画排水系統

(別紙計画排水系統模式図参照)

4. 計画排水量

(第11表-1)

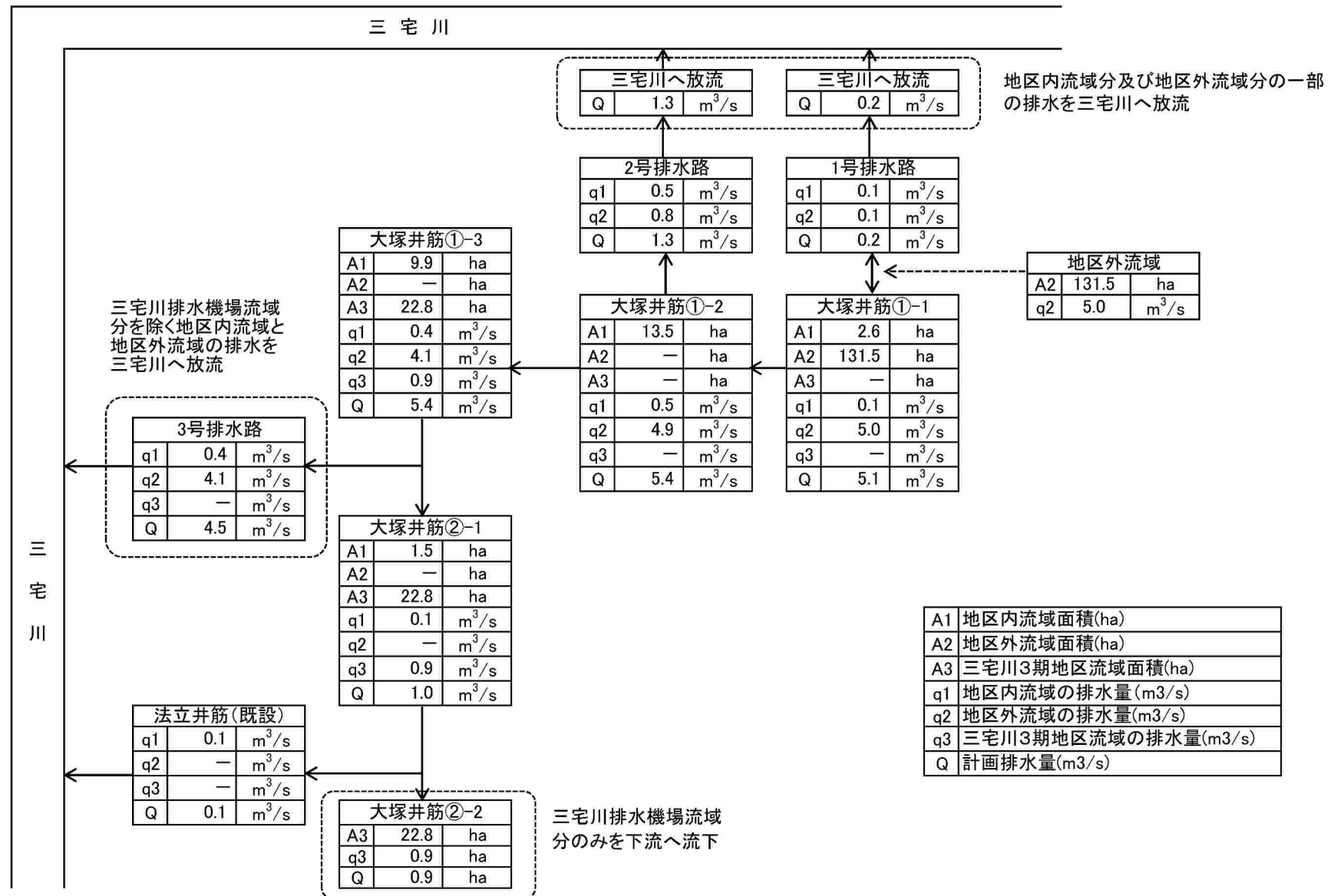
項目 排水系統名		受益面積 (ha)		流域面積		基準雨量	降雨による直接単位 流出量		基底流出量		全排水量 (m3/s)			単位排水量		備考
		事業名		(km2)			(m3/s/km2)		(m3/s/km2)		山地	平地		(m3/s/km2)		
		緊急農地防災事業	計	山地	平地		(mm)	山地	平地	山地		平地	自然排水	機械排水	山地	
1号～3号排水路		48.8	48.8	－	1.803	214.0	－	0.038	－	－	－	6.900	－	－	3.80	
計		48.8	48.8	－	1.803	214.0	－	0.038	－	－	－	6.900	－	－	3.80	

5. 排水対策

(1)排水水門 該当なし

(2)排水機 該当なし

計画排水系統模式図



(3)排水路

(第11表－4)

(5)排水路		(第11表)							
項目 名称	流域面積 (km2)	受益面積(ha)	排水量 (m3/s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名				名称	計画洪水量 (m3/s)	計画洪水位	
		緊急農地防災事業						(m)	
1号～3号排水路	1.315	48.8	—	0.14	B2, 600×H1, 000	—	—	—	
			—	0.19	(B3, 000×H1, 500) B3, 000×H1, 300	—	—	—	
			—	(0.26) 0.23	(B3, 600×H1, 500) B2, 900×H2, 000	—	—	—	
計	1.315	48.8	—	(0.59) 0.56					

(4)その他

該当なし

6. たん水検討

(第11表－5)

区分	基準田面標高 (m)	許容湛水深 (m)	許容湛水深以上 湛水時間(hr)	最大湛水深 (m)	最大湛水面積 (ha)	備 考
現況	—	0.30	24	0.60	11.5	
計画	—	0.30	—	—	—	

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調節計画

第8節 干拓計画

第9節 農用地整備計画 該当なし

第10節 老朽ため池改修計画 該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設 該当なし

第2節 排水施設
1. 排水水門 該当なし

2. 排水機 該当なし

3. 排水路

(第18表－3)

項目 名称	受益面積(ha)		排水量 (m3/s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネル その他	計				
	緊急農地防災事業	計								
1号～3号 排水路	48.8	48.8	0.2	—	0.14	0.14	B2, 600×H1, 000	—	—	1号排水路
			1.3	—	0.19	0.19	(B3, 000×H1, 500) B3, 000×H1, 300	—	—	2号排水路
			4.5	—	(0.26) 0.23	(0.26) 0.23	(B3, 600×H1, 500) B2, 900×H2, 000	—	—	3号排水路
計	48.8	48.8	6.0		(0.59) 0.56	(0.59) 0.56				

4. その他排水施設 該当なし

- 第3節 道路及び索道 該当なし
- 第4節 農用地造成 該当なし
- 第5節 洪水調節施設 該当なし
- 第6節 干拓施設 該当なし
- 第7節 農用地整備施設 該当なし
- 第8節 老朽ため池改修施設 該当なし

第6章 附帯工事計画

用地買収及び補償費

(1) 用地買収

用地買収及び補償費・・・ 228 m²

(2) 補償費

電柱移転・・・・・・ 2 本

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期

着工

平成 29 年度

完了

(平成 34 年度)

令和 12 年度 予定

() 内は変更前

変更前

変更後

2. 工事の年度割予定

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
測量・調査 ・設計等														
排水路改修														

第8章 環境との調和への配慮

(1) 配慮の対象

ドジョウ

ミナミメダカ

トノサマガエル

(2) 配慮の方法

希少種は、必要に応じて施工前に周辺の同環境への移設等を検討する。

施工に際しては、汚水・濁水の適切な処理を行い、周辺環境に配慮する。

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名 区 分		緊急農地防災事業 (千円)	備 考
事業費 ※1		(671, 000) 1, 503, 000	—
事務的経費 ※2		(114, 000) 245, 000	—
計		(785, 000) 1, 748, 000	—
関連 事業 (参考)	—	—	—
	—	—	—

(平成28)

(8)

(令和6年度単価。消費税については10%で算定。ただし、物価変動により将来変動することがある。)

※1…事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2…事務的経費とは、平成22年4月1日付け愛知県緊急農地防災事業実施要綱により定められた事務費及び工事雑費

第11章 効 用

(第27表)

区 分 \ 項 目		緊急農地防災事業		備 考
		年 総 効 果 額 (千円)	年 総 増 加 所 得 額 (千円)	
作物生産効果		(737) 915	(756) 915	
維持管理費節減効果		(△5,008) △ 4,435	(△125) △ 199	
災害防止効果	農業資産	(151,781) 126,893	(151,781) 126,893	
	一般・公共資産	(1,432,778) 2,647,188	-	
国産農産物安定供給効果		(99) 192	-	
計		(1,580,387) 2,770,753	(152,412) 127,609	現況年総農業所得額 (129,811) 95,924 千円

<参考>

① 当該事業費	:	(552,761) 千円	
		1,723,880 千円	
② その他費用	:	(1,830,966) 千円	
		2,470,950 千円	
③ 総費用	:	(2,383,727) 千円	
		4,194,830 千円	
④ 年償還額	:	- 千円	
④' うち機能向上分	:	- 千円	
⑤ 年総効果(便益)額	:	(1,584,387) 千円	
		2,770,753 千円	
⑥ 現況年総農業所得額	:	(129,811) 千円	
		95,924 千円	
⑦ 年総増加農業所得額	:	(152,412) 千円	
		127,609 千円	
⑧ 総便益額	:	(27,617,355) 千円	
		58,387,342 千円	
評価期間	:	(46) 年	
		54 年	
割引率	:	0.04	
総費用総便益比 (⑧÷③)	:	(11.58)	≧ 1.0以上
		13.91	≧ 1.0以上
総所得償還率 (④÷⑥)	:	- %	≦ 20 %
増加所得償還率 (④' ÷⑦)	:	- %	≦ 40 %

第12章 関連する事業

該当なし

第13章 現況・計画図面

別途添付